

山口大学研究プロジェクト



コロナ危機と時間学



～新型コロナウイルス感染症と私たちの過去・現在・未来～

新型コロナウイルス感染症の諸問題に対して『時間 -過去・現在・未来-』をキーワードに学術的貢献を目指してきた山口大学研究プロジェクト「コロナ危機と時間学」が終了します。下記のとおり成果報告を行いますので是非ご参加ください。

日時:2023年11月27日(月)10時00分～15時30分

会場:山口大学吉田キャンパス第2テレビ会議室

対象者:山口大学学内者および本プロジェクト共同研究者

事前申込:不要

成果報告
シンポジウム

プログラム

時間	氏名	所属	研究課題名
10:00-10:30	森 朋也	教育学部	「西の小京都」の歴史的継承と未来への創造:コロナ禍における地域社会の持続可能性
10:30-11:00	浜島 清史	東アジア研究科	コロナ禍における労働時間等の変容—過去・現在・未来—ならびに社会制度・組織に関するアンケート調査研究
11:00-11:30	足立 亮介	大学院創成科学研究科	感染症数理モデルの解析に基づく公衆衛生技術の創出～システム理論による経験(過去)の統合と未来の構築を目指して～
11:30-12:00	安達 圭一郎	大学院医学系研究科保健学専攻	長引く新型コロナ感染症(COVID-19)に対する一般市民の病氣不安及び病氣認知の過去と現在:時の変化にマッチしたメンタルヘルス支援を目指して
12:00-13:00	昼食休憩		
13:00-13:30	青山 翔	教育学部	新型コロナウイルス感染症流行に伴う休校措置を過去に経験した幼児の体力の発達に関する縦断的研究
13:30-14:00	上田 真寿美	国際総合科学部	コロナ状況下で失った山口大学生の身体活動量を取り戻す-コロナ前～現在(2019-2022年)の歩数の実態調査-
14:00-14:30	高橋 雅子	教育学部	コロナ後(未来)の学校を見据えた授業の不自由感に対する効果的な没入感を目指した授業づくり—児童生徒や学生の特性を踏まえた多層的分析—
14:30-15:00	藤原 まみ	国際総合科学部	感染症と文学の「過去」「現在」そして「未来」——時間の加速と膠着が交錯する場における、群衆・異文化表象研究——
15:00-15:30	川崎 勝	国際総合科学部	過去(スペイン風邪)と現在(COVID-19)のパンデミック対応の比較から見る社会の変貌

コロナ危機と時間学 HP



http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp/?page_id=3042

問合せ先
山口大学時間学研究所 事務室
Mail:sh076@yamaguchi-u.ac.jp
Tel:083-933-5848